

セマンティックWeb委員会活動報告

情報家電オントロジを活用したサンプルアプリケーションの公開 にむけて

2009年3月16日

大沼宏行
沖電気工業株式会社

情報家電オントロジー構築の背景

- デジタル情報機器の高機能化
 - 一般ユーザが知らない知識が求められる。
 - 知らない用語が次々に出てくる。
 - スペックの意味がよくわからない。
 - 自分が既に持っている機器が、つながるかどうか、よくわからない。
- セマンティックWebの進展
 - ユーザ参加型のコンテンツの広がり
 - ユーザが気軽に知識を提供できるようになってきている
きっかけや仕組みがあれば、知識が提供されていく環境



情報家電に関するトラブルや疑問も、ユーザ同士で解決できるとよい。

情報家電オントロジーの目的

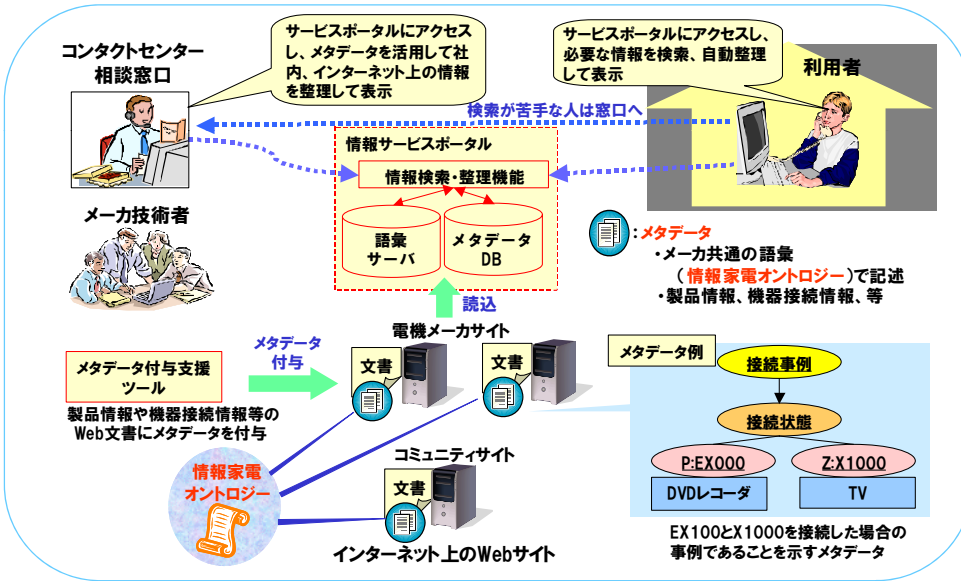
情報家電に関する情報にアクセスしやすくするために、
情報家電に関する語彙を共通化

情報にアクセスするための索引や知識構造として、家電メーカ共通
の語彙の体系(情報家電オントロジー)を策定



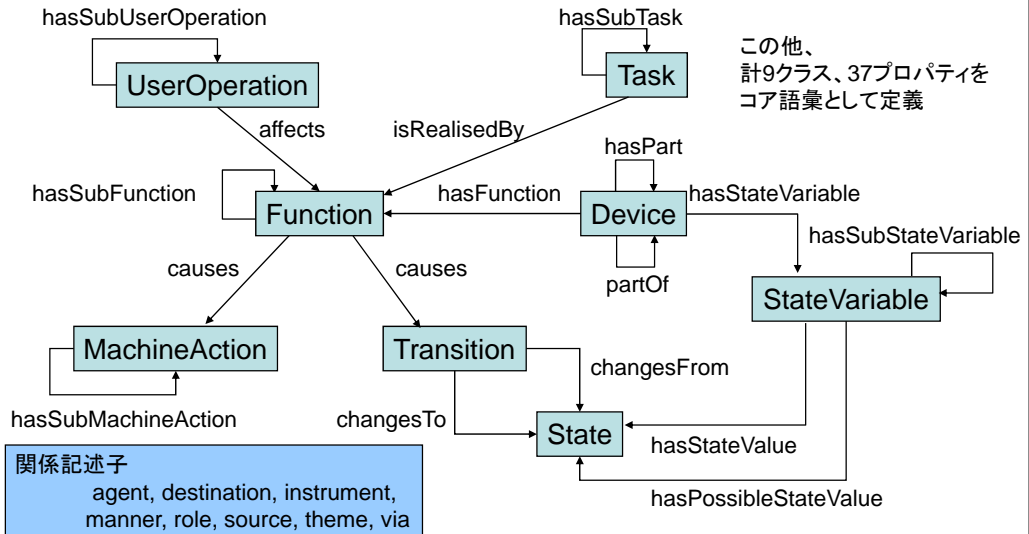
メーカを横断した情報家電の検索や推薦、商品比較等の
サービス提供が可能

情報家電オントロジーの検索への利用



情報家電オントロジー コア語彙

コア語彙: 他の語彙を記述するための基本的な役割を果たす語彙



サンプルアプリケーション

近年、情報家電が様々な機器とつながるようになってきて、使い方が難しくなっている

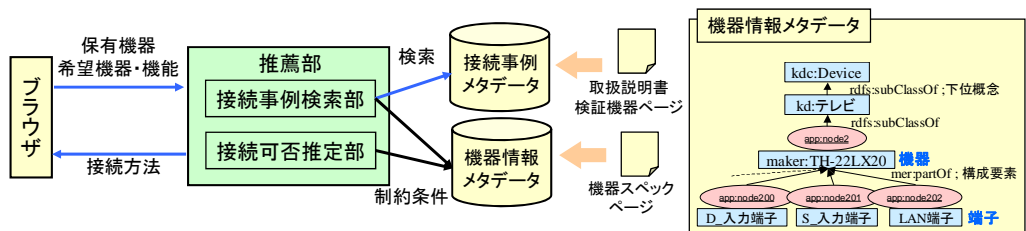
- 情報家電を購入したいが、使いこなせるかわからない
- 自宅の機器に合った機器を購入したいが、どの機器がつながるかわからない

情報家電オントロジーにより
機器接続関係を表現

様々なメーカーの機器が関わる
機器接続方法を提示

■ サンプルアプリケーション概要

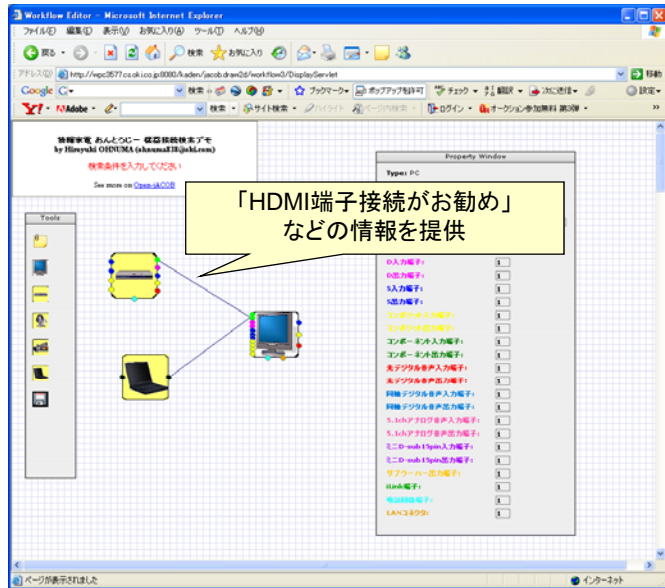
- Web公開の取扱説明書や接続検証機器(接続事例)を格納
- ユーザの保有している機器や希望機器・機能に応じて、お勧めの接続方法を推薦



アプリケーションイメージ

【検索条件】

- ユーザが保有している機種
- 購入したい機器
- 求める機能など



機器接続で利用する知識

- 機器(情報家電)
 - (例) TV, DVDレコーダ
- 製品情報
 - 保有コネクタ
- コネクタ(端子)
 - 機器の構成要素
 - (例) HDMI端子, D端子
- ケーブル
 - (例) HDMIケーブル
- 機器の接続関係

次々に新製品が出てくるため、継続的な知識のメンテナンスが必要

メタデータ作成支援・様々なサイトの情報の統合

アプリケーション公開にむけて

- 外部知識を取り込めるフレームワーク
 - インターネット上の様々なサイトで公開される情報を取り込めるアプリケーションに
- 容易な知識作成を支援
 - メタデータ作成支援が必要

